

## 会議録（要旨）

1	会議名	第1回 高砂市子ども・子育て会議
2	開催日時	平成25年10月21日（月） 14時00分～15時45分
3	開催場所	高砂市役所 南庁舎 5階 大会議室
4	出席者	<p>&lt;委員&gt; 高砂市子ども・子育て会議 委員16名</p> <p>&lt;事務局&gt; 教育長、福祉部長、健康文化部長、教育部長、子育て支援室長、子育て支援室主幹</p>
5	傍聴人数	6名
6	次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長挨拶</li> <li>3 委員の委嘱・紹介</li> <li>4 高砂市子ども・子育て会議条例について</li> <li>5 委員長の選出</li> <li>6 諮問</li> <li>7 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高砂市子ども・子育て会議運営要綱について</li> <li>(2) 子ども・子育て支援新制度について</li> <li>(3) 高砂市の現状について</li> <li>(4) ニーズ調査について</li> </ol> </li> <li>8 その他 <p>今後のスケジュールについて</p> </li> <li>9 閉会</li> </ol>
7	配布資料	<p>&lt;事前配布&gt; 資料① 子ども・子育て支援新制度について</p> <p>資料② 高砂市の現状について</p> <p>資料③ 子ども・子育て支援新制度に係るニーズ調査の実施について</p> <p>資料④ 高砂市子育て支援に関するアンケート調査について（案）【就学前児童用】</p> <p>資料⑤ 高砂市子育て支援に関するアンケート調査について（案）【小学生用】</p> <p>&lt;当日配布&gt; 1 第1回高砂市子ども・子育て会議次第</p> <p>2 高砂市子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>3 第1回高砂市子ども・子育て会議配席図</p> <p>4 高砂市子ども・子育て会議条例（資料⑥）</p> <p>5 委嘱状</p> <p>6 高砂市子ども・子育て会議運営要綱（案）（資料⑦）</p> <p>7 今後のスケジュール（資料⑧）</p>

事務局	<b>1 開会 (14 : 00)</b>
市長	<b>2 市長挨拶</b> 子ども・子育て施策は、大きな社会問題であり国の取り組む課題、そして行政が大きな力を発揮しなければならない問題になっていると考えている。国は平成24年8月に子ども・子育て関連3法を制定し、国として基本的な方針を定め、少子化等子どもに関する課題の解消に向けて取り組んでいる。 高砂市では、15歳未満の人口が1万3,000人をきっており、10年前から見ると、約2%人口比に占める割合が下がっている。少子化対策として、今後、子どもを産み・育てることがいかに大事かということの意識啓発を行い、子育て支援の環境づくりを推進することは行政の重要な役割である。子ども・子育て会議では、今後、高砂市を発展させるため、高砂市を住みよい、また住みたいまちづくりを推進するため、委員の皆様方の意見を賜り、皆様方の力を貸していただきたい。
	<b>3 委員の委嘱・紹介</b>
事務局	<b>4 高砂市子ども・子育て会議条例について</b>
	<b>5 委員長の選出</b> 委員長に大橋委員を選出
委員長	大橋委員長 挨拶
市長	<b>6 諮問</b>
委員長	副委員長に井上委員を指名
	<b>7 議題</b>
事務局	<b>(1) 高砂市子ども・子育て会議運営要綱について</b> 【高砂市子ども・子育て会議運営要綱（案）（資料⑦）について説明】 「高砂市子ども・子育て会議運営要綱」が承認
委員長	会議の運営はこの要綱に基づき行っていく。
	<b>(2) 子ども・子育て支援新制度について</b> <b>(3) 高砂市の現状について</b>
事務局	【資料① 子ども・子育て支援新制度について説明】 【資料② 高砂市の現状について説明】
委員	子ども・子育て支援新制度についての10ページの乳児家庭全戸訪問事業の説明に

事務局	<p>「案内ハガキを送付して希望する家庭に訪問している」とあるが、高砂市の現状についての13ページに、「母子保健推進員などが、生後4か月未満の乳児のいる全ての家庭を訪問し」と書かれてある。資料によって内容が異なっている。</p> <p>制度上は、生後4か月未満の乳児のいる全ての家庭を訪問する事業であるが、当市では、母子保健推進員に委託しまして、対象世帯に案内ハガキを送付し、希望する家庭を訪問している。平成23年度の見学数、出生数等を比べてみると100～150名の差があるのは、対象者数と希望者に差があったということである。</p>
事務局	<p><b>(4) ニーズ調査について</b></p> <p>【資料③ 子ども・子育て支援新制度に係るニーズ調査の実施について説明】</p> <p>【資料④ 高砂市子育て支援に関するアンケート調査について（案）(就学前児童用)説明】</p> <p>【資料⑤ 高砂市子育て支援に関するアンケート調査について（案）(小学生用)説明】</p>
委員	<p>アンケートの内容に入る前に、今回どのくらいの回収率を想定しているのか。また、次世代育成支援行動計画のときのアンケートの回収率はどのくらいあったのか。</p>
事務局	<p>次世代育成支援行動計画後期計画のニーズ調査では、就学前児童1,400件、小学生1,466件を対象とし、それぞれの回収率は就学前児童78.8%、小学生88.9%であった。2つを平均すると84%の回収率だった。次世代育成支援行動計画後期計画の前の前期計画から、小学校、幼稚園、保育所等に入学・入園している児童は各学校・園を通して配布・回収し非常に回収率がよいことから、今回のニーズ調査も同じ方法をとりたい。また、未就園児等については、郵送により実施する。</p>
委員	<p>就学前児童アンケートの11ページ問19で「今後利用したい」の選択肢が「はい」と「いいえ」しかないが、「どちらともいえない」みたいな項目があった方が書きやすいのではないかと。委員にこのアンケートの対象になる方がいると思うが、答える側の意見としてもお聞かせ願いたい。</p>
委員長	<p>11ページ問19の選択肢が「はい」、「いいえ」の2つだが、答える側としては「どちらともいえない」があった方がいいのではないかと。これは委員の中の保護者の方にご質問ということなので、どなたかお返事をいただきたい。</p>
委員	<p>私は「はい」、「いいえ」では答えづらいのではないかと。利用したいこともあるかもしれないが、今はどちらでもないこともあるという意見もあると思うので、「どちらでもない」、「できればそうしたい」などの中間意見の項目もあった方が答えやすい。</p>
委員	<p>使用したくても使用できないこともあるかと思うので、そのような項目もあった方</p>

	<p>がいいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>問19の「はい」、「いいえ」とした理由は、集計する際に利用したいのか、したくないのかをはっきりさせるためにこのような形にしている。「わからない」という選択肢は集計上難しいが、事務局で検討する。</p>
委員長	<p>時間の都合もあるので、事務局と私に一任させていただきたい。</p>
委員	<p>就学前児童アンケートの4ページの間7で就労している方に出勤する際の時間を24時間制で書いてもらうが、5分刻みか10分刻みで表記できるようにしていただきたい。</p>
委員長	<p>問7の1、集計等の都合上の理由もあると思うが、いかがか。</p>
事務局	<p>30分もしくは10分単位で記入できるよう検討していきたい。</p>
委員	<p>小学生用のアンケートの4ページ問19の1、6番「知り合いの人たちで相談にのった」とあるが、これは虐待をした保護者の相談にのったということを言いたいのか。それとも知り合いの人たちが集まって相談したということを知りたいのか。私が聞かれた場合に答えに悩むので質問した。もう少しわかりやすい表現にした方がよい。</p>
事務局	<p>「知り合いの人たちで相談にのった」は、他の部分と噛み合わないので検討する。</p>
委員	<p>小学生用アンケートの間8、年間利用日数を表記する部分は月単位、週単位にした方がお母さん方は書きやすいのではないか。年単位にすると、時期によって変わってくるので、月単位の方が書きやすい。就学前児童用の問28の17番、その他で、私たちはインターネットで相談することがすごく多いが。</p>
事務局	<p>月にすると、利用しない月がでてくるので、年間の利用日数という表記になっている。今の児童の保護者はインターネットでの相談が多いということだが、最近インターネットでの相談をよくみかけるので検討したい。</p>
委員	<p>就学前児童用アンケートの12ページの放課後の過ごし方だが、放課後子ども教室のない週、ない月があり、体験型、学習型もあるので、週何日という表記だと混乱するのではないか。学童保育所は、現在、日曜日、祝日はやっていない状態なので、希望をきくのはいいが、日曜日、祝日は実施していないことの記載がほしい。小学生用の6ページ問24、25も同じ。</p>
委員	<p>就学前児童用のアンケートの間36に「保育サービス」という言葉があるが、一般の方々はサービスという表現はわかりにくいと思う。また、問39の11番を「幼児</p>

委員長	<p>期の教育・保育サービスの充実」ではなく「幼児期の教育・保育の充実」でよいのではないか。</p> <p>この辺りは大切な部分であると思う。</p>
事務局	<p>このアンケートの2ページに保育サービスの用語解説をしているが、ここまで内容をみる保護者は少ないと思うので、わかりやすい表記を検討する。</p>
委員	<p>就学前児童用の問39の11番の「幼児期の教育・保育サービスは充実」は教育と保育サービスに分かれているか。それとも教育・保育のサービスなのか。</p>
事務局	<p>保育サービスについて、2ページで用語解説をしているが、問39の11は、次世代育成支援行動計画と同じ内容の質問事項で、この当時保育サービスというものが一時預かりや延長保育を指していた。しかし今回の子ども・子育て支援事業計画では保育サービスは地域の子ども・子育て事業のような内容になっているので、検討する。</p>
委員長	<p>とても大切なところをご指摘いただいた。問39の11番の「サービス」という文言は事務局で検討する。「教育・保育」というところについては、「教育・保育」あるいは「幼児教育・乳幼児教育」というように幅広く考えたらいいか、その辺りは非常に大事にしたいところだが。</p>
委員	<p>とても重要と認識している。私たち施設側であれば保育のサービスといえ、このようなものと理解できるが、一般的にこれを受け止めると、保育の内容の充実、乳幼児教育の重要性よりもサービスの形で安易に受け止められてしまい、私たちの保育園での就学前児童のための教育が薄いような形で受け止められてしまうのでは。</p>
委員長	<p>この件に関して、もうひとつぐらいに意見を頂戴して事務局に預けさせていただきたい。</p>
委員	<p>ここでこのサービスを取るか取らないか、文言を変えるか方向性だけ決めては。</p>
委員長	<p>サービスについては、取る方向でよいかと。「教育・保育」の中身が非常に大事な案件だと思う。保育の中に教育あり、教育の中に保育がある時代で、その辺りも含めて事務局にお返りする。</p> <p>調査票の案に対する各委員からの意見に対しては事務局及び私に一任ということでご承認いただけるか。</p>
委員	<p>(承認)</p>
事務局	<p><b>8 その他 今後のスケジュールについて</b>  <b>【資料⑧ 今後のスケジュールについて説明】</b></p>

次回第2回目に会議は、平成26年2月初旬に開催を予定。開催日が決まり次第、連絡する。

**9 閉会 (15:45)**